

まさか自分が...!?
あなたの心の隙間が狙われています!!

おれおれ詐欺 撃退法



上映時間 15分

制作意図

息子や孫を装って電話をかけ、振込ませた現金をだまし取る『おれおれ詐欺』の発生件数は6504件。その被害総額は約43億1800万円にも上っています。(2003年警察庁発表)

『おれおれ詐欺』という言葉を知っているにも関わらず、被害が急増・拡大しているのはどうしてでしょうか？

『おれおれ詐欺』のどこに落とし穴があるのか、もう一度認識を深めることが大切です。

“まさか自分が・・・!?”被害にあってからでは遅いのです。

この作品は、その撃退法を高齢者にもわかりやすく、事例ごとに紹介していきます。

作品の内容

○事例1 山岡タケの家

タケがいそいで電話に出ると————
「オレだけど、お母さん…。実は事故を起こしちゃって…示談金が必要なんだ。今日中に振込んでくれないかな。急いでるんだ…」
事故というショックな言葉に不安が広がるタケ。通帳と印鑑を手に、慌てて出ていく。
これが『おれおれ詐欺』です。

◇主な『おれおれ詐欺』の言葉◇

- ・交通事故の示談金名目
- ・消費者金融などからの借金返済名目
- ・妊娠中絶手術費用名目

○事例2 橋本加代の家

慌てて受話器を取ると————
「あ、おばあちゃん？オレだけど…」
加代は、相手が自分の名前を名乗ろうとしないことに気がつきました。

■『撃退法その1』

相手の名前を自分から言わない

狙われているのは一人暮らしの高齢者、そして多くが女性です。耳が遠くなっていたり、普段電話がかかって来ないという状況で、子どもや

孫を装って切迫した電話がくれば不自然さに気がつかず被害にあってしまうのです。必ず、相手に自分で名乗ってもらいましょう。

○事例3 溝辺伸一の家

電話に出る伸一————
息子の借金を代わりに払え、という電話。
その息子は監禁されているようである。
家を飛び出した伸一を、通りかかった高橋さんが異変に気がついて呼び止めた。

■『撃退法その2』

必ず誰かに相談する

電話で、家族のアクシデントが伝えられたら誰もが慌ててしまいます。監禁や拉致されているのなら警察に相談すべきだし借金なども親戚や周りの人に相談してみるべきです。直接本人と連絡を取り事実の確認をしましょう。

○事例4 川野文枝の家

受話器を取る文枝————
彼女が妊娠してしまい中絶のお金が必要だが頼めるのはおばあちゃんしかいない、と告げる電話。文枝が、折り返し連絡するので電話番号を教えてほしいと言うと、電話は切れた。

■『撃退法その3』

こちらから確認の電話をする

犯人は、顔の見えない安全圏から犯罪をしかけてきます。振込先の口座もインターネットなどで不正に入手したもので、失敗しても電話を切ってしまうと犯人はわかりません。怪しいと思ったら、こちらから確認の電話をしましょう。

■『撃退法その4』

地域の絆と家族の絆

老人クラブなどの集まりで情報を共有し、同様の犯罪にあわないよう注意しましょう。
また疎遠になっている身内に連絡をとり、事件の話題や近況を伝えましょう。犯人は、孤独や不安感などの心の隙間を狙っています。

・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp